

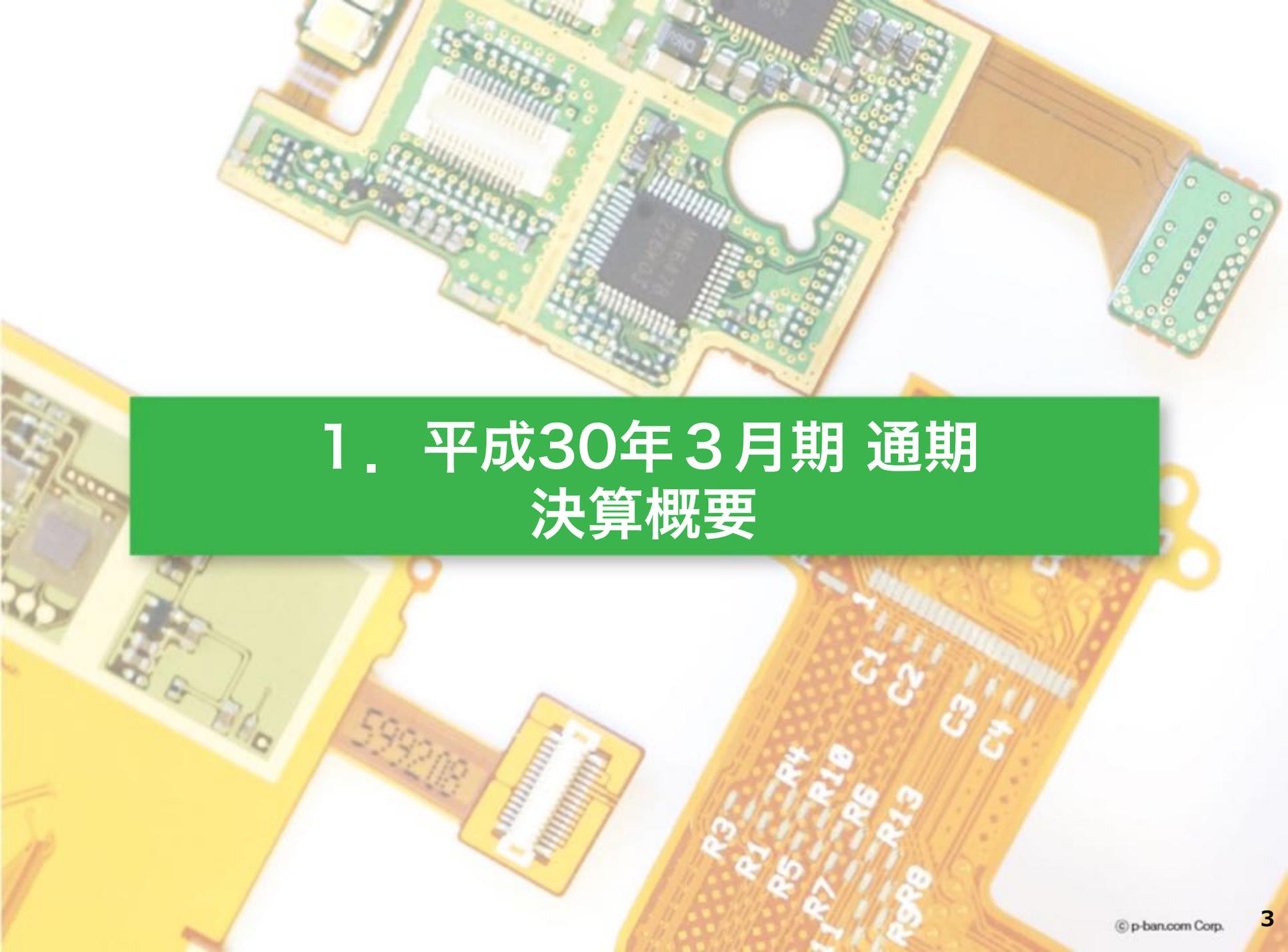


平成30年3月期 通期 決算説明資料

2018年5月11日

証券コード：3559
株式会社ピーバンドットコム

1. 平成30年3月期 通期決算概要
 2. 平成31年3月期 業績予想について
 3. 当期の主な取組
- 参考資料. 当社の事業概要



1. 平成30年3月期 通期 決算概要

決算ハイライト — 平成30年3月期 通期 —

業績

売上高	1,995	百万円 (前期比 9.0% 増)	↑
営業利益	286	百万円 (前期比 24.4% 増)	↑
経常利益	290	百万円 (前期比 31.8% 増)	↑
当期純利益	221	百万円 (前期比 39.1% 増)	↑

売上
トピック

- 設計、製造、実装の**ワンストップ利用が拡大**し、顧客単価上昇
- 株式公開とサービス品質向上により、**大手、中堅企業の受注増加**
- **単価の高い特注仕様**などの受注が増加
- 国内の**電子業界が堅調に推移**し、需要が増加

利益
トピック

- **国内外仕入先との連携**で、仕入原価を適正に保つ
- 予実管理の徹底により、**販売管理費の増加を抑制**
- 当期純利益が計画を上回り、**配当予想を修正**

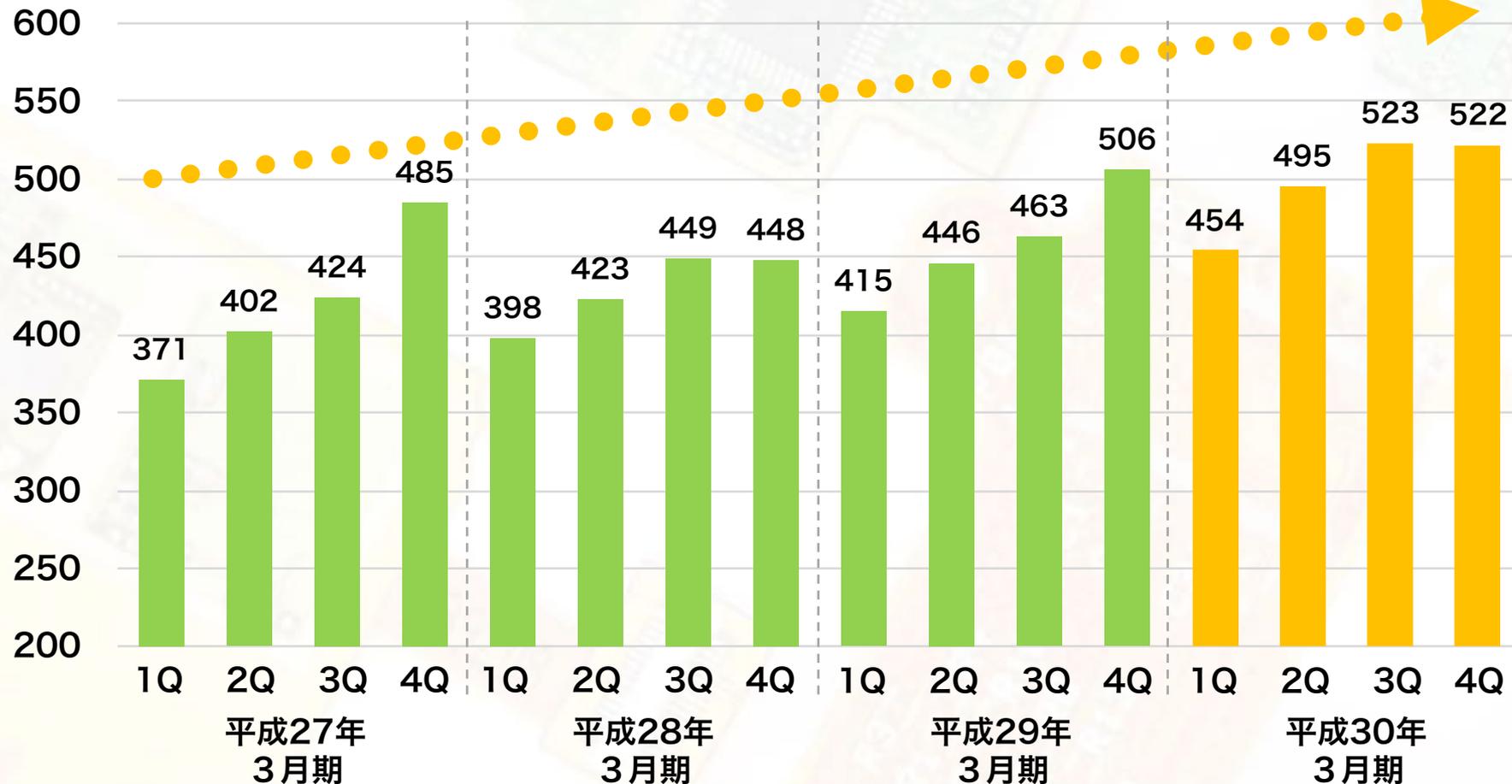
平成30年3月15日、業績予想を修正しました。
 売上高・利益ともに期初計画を上回り、当期純利益率は11.1%になりました。
 株主様への利益還元として配当予想を修正しました。 単位：百万円

	前年同期	平成30年3月期			平成30年3月期 業績予想	
	実績	実績	前期比	前期比 (%)	修正計画 (3/15)	期初計画
売上高	1,830	1,995	+164	9.0%増	1,969	1,940
売上総利益	599	682	+82	13.7%増	671	638
販売管理費	369	396	+24	7.1%増	392	405
営業利益	230	286	+56	24.4%増	279	233
営業利益率	12.6%	14.3%	+56	24.4%増	14.2%	12.0%
経常利益	220	290	+70	31.8%増	283	236
経常利益率	12.1%	14.6%	+70	31.8%増	14.4%	12.2%
当期純利益	159	221	+62	39.1%増	213	171
当期純利益率	8.7%	11.1%	+62	39.1%増	10.8%	8.8%
1株当たり配当額	0円00銭	10円00銭	+10円	—	—	—

前年同期比で継続成長しています

※当社売上高は、過去実績の通り季節変動があります

(百万円)



※平成29年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

ワンストップ・ソリューションの拡大

売上の柱である製造サービスの利用が増加したことに加え、
サービス品質に対する信頼性が向上したことにより
前工程の設計、後工程の実装の利用が進み、
設計・製造・実装サービスのワンストップ利用顧客が増加しました。

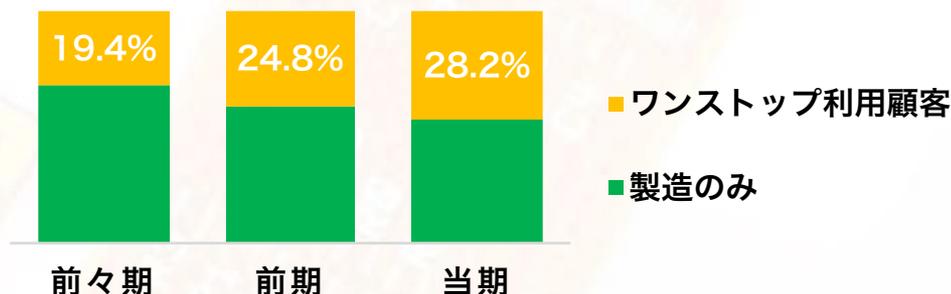
サービス別の売上高前期比

サービス名	前期比
製造	107.5%
設計	115.1%
実装	118.8%

※単一セグメントのため、サービス別の売上高は割愛させていただきます

ワンストップ利用客数は、
17.2% → 19.3% → 21.7%と、年々増加
(前々期) (前期) (当期)

売上構成比も拡大しています



大手・中堅企業の受注や、高付加価値の受注が増加

※数字は全て前年同期比

- 従業員 **500名** 以上の大手・中堅企業の利用が拡大
顧客数 **9.8%** 増、売上 **16.0%** 増
- PR・受入体制の強化により、小・中ロット量産の受注が増加
受注獲得件数 **12.3%** 増、売上 **15.6%** 増
- 注文単価の高いハイスペック基板の受注が増加
多層基板 売上 **13.0%** 増

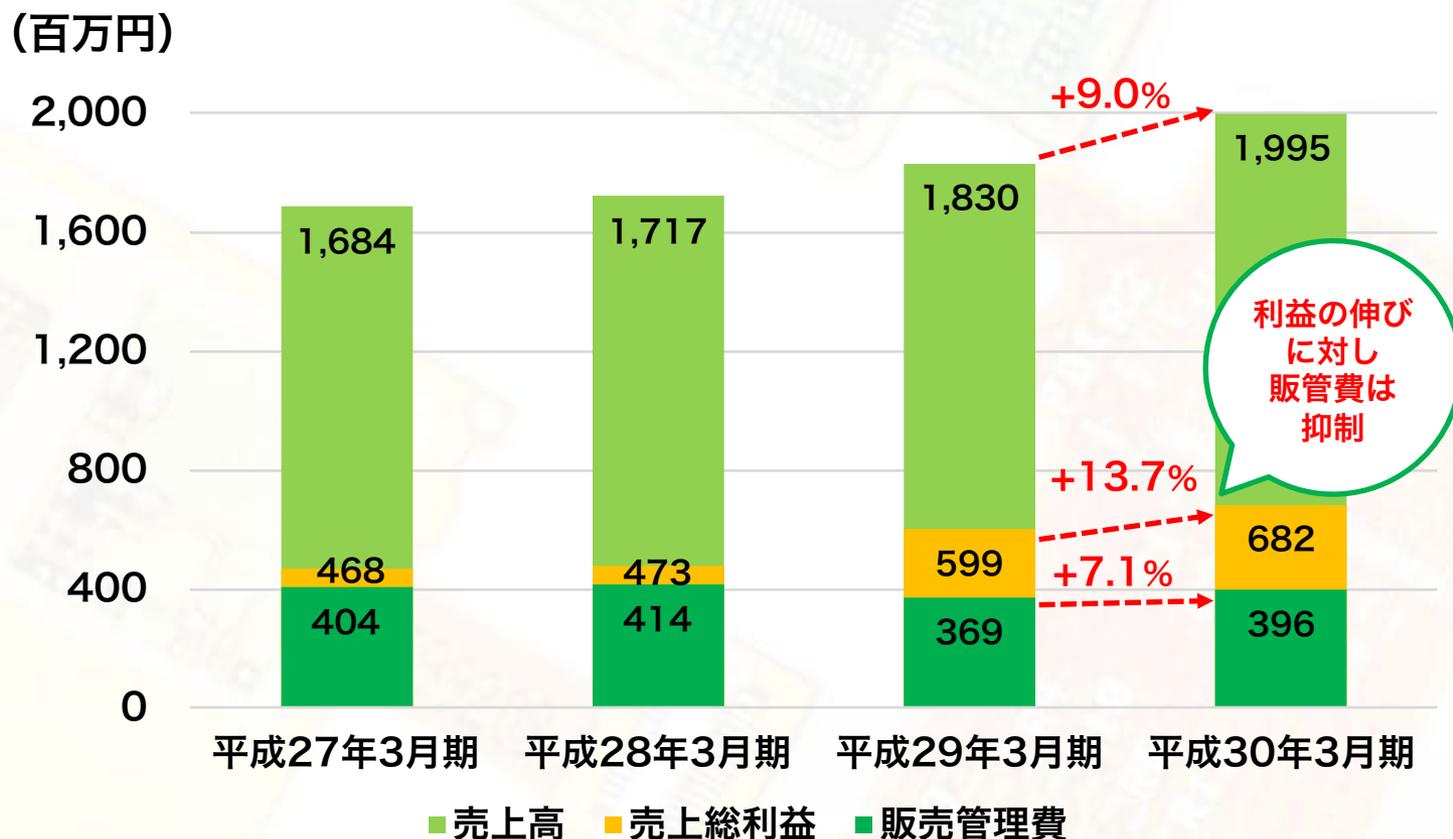
国内の電子工業が堅調に推移

半導体メモリの需要増により、製造装置などへの設備投資が増加
国内の電子工業全体の生産額は、2017年累計では **6.4%**増 で推移し、
プリント基板の需要も増加

国内電子工業生産実績（出展：JEITA 2018年2月発表）

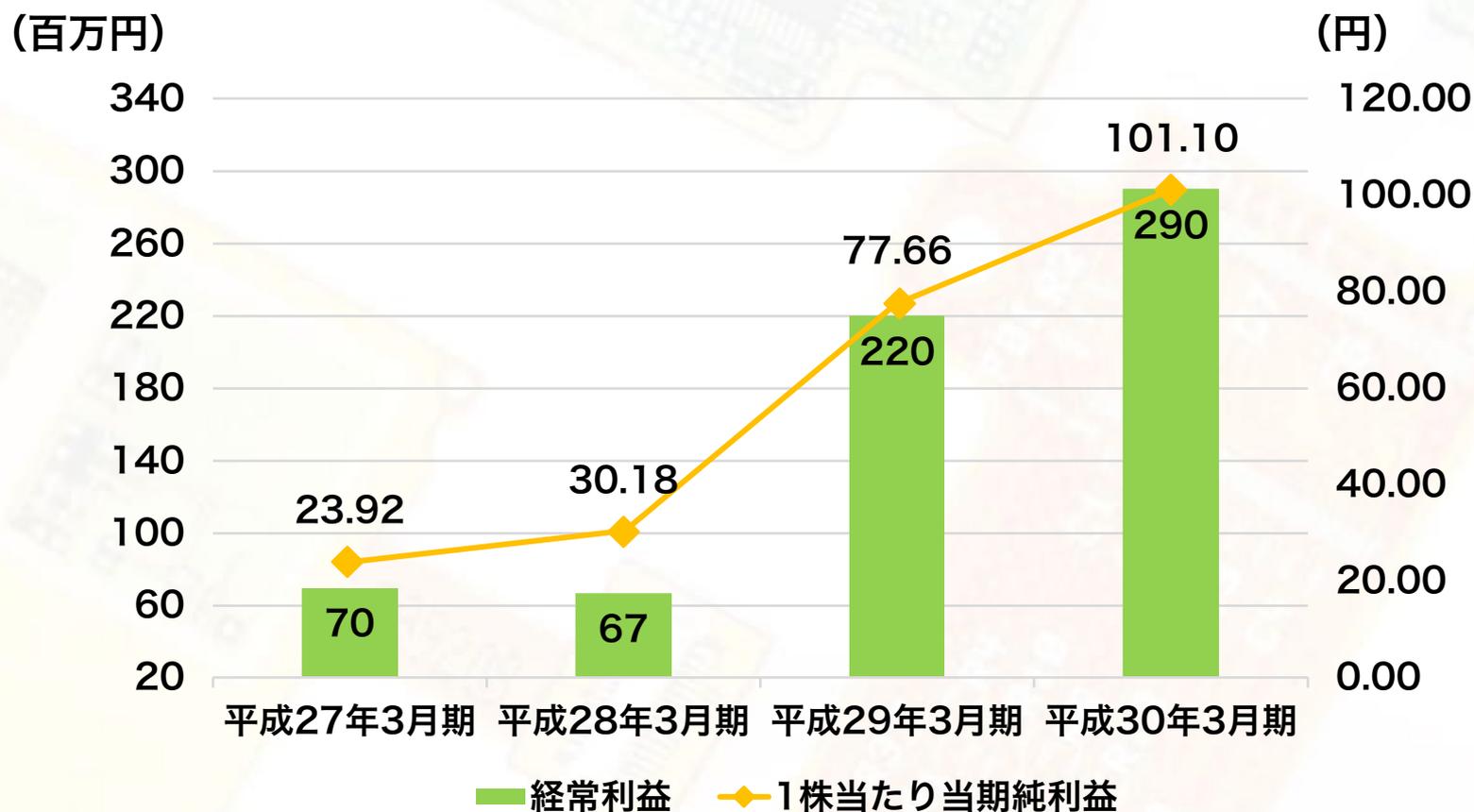
品目	2017年1月～12月累計	
	金額（百万円）	前期比
民生用電子機器	631,280	95.7%
産業用電子機器	3,391,153	102.7%
電子部品	2,644,592	104.6%
電子デバイス	5,250,437	111.5%
電子工業計	11,917,462	106.4%

売上総利益682百万円、前期比13.7%増加しました
販管費は、SE・営業部門の専門人材強化等により396百万円、
前期比7.1%増に抑えました



※平成29年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

経常利益は290百万円、前年同期比31.8%増加、
1株当たり純利益は101.10円、前年同期比30.2%増加しました



※平成29年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

スリムで筋肉質なB/S運用を目指し、
自己資本の充実を図りました

単位：千円

	前期末	平成30年 3月末	前期末比	説明
流動資産	851,963	1,077,817	225,854	現金及び預金の増加
現金及び預金	593,006	790,914	197,908	
受取手形及び売掛金	234,998	260,050	25,052	売上増分に対し、売掛金は増加した が、貸倒引当金は減少
貸倒引当金	▲5,429	▲4,743	686	
固定資産	61,546	64,433	2,887	
ソフトウェア	27,573	29,839	2,265	
資産合計	913,509	1,142,251	228,741	流動資産の増加
流動負債	330,764	335,853	5,088	
買掛金	198,521	206,858	8,337	支払サイトが長い国外仕入が増加
固定負債	7,137	9,372	2,234	
負債合計	337,901	345,225	7,323	
純資産の合計	575,608	797,025	221,417	自己資本比率63%→69%
負債・純資産合計	913,509	1,142,251	228,741	



2. 平成31年3月期 業績予想

売上高5.4%成長、営業利益3.1%成長、
今後の事業拡大に向けた人員体制強化のため、
販売管理費が増加の見込みですが
利益は前期比増を目指します。

単位：百万円

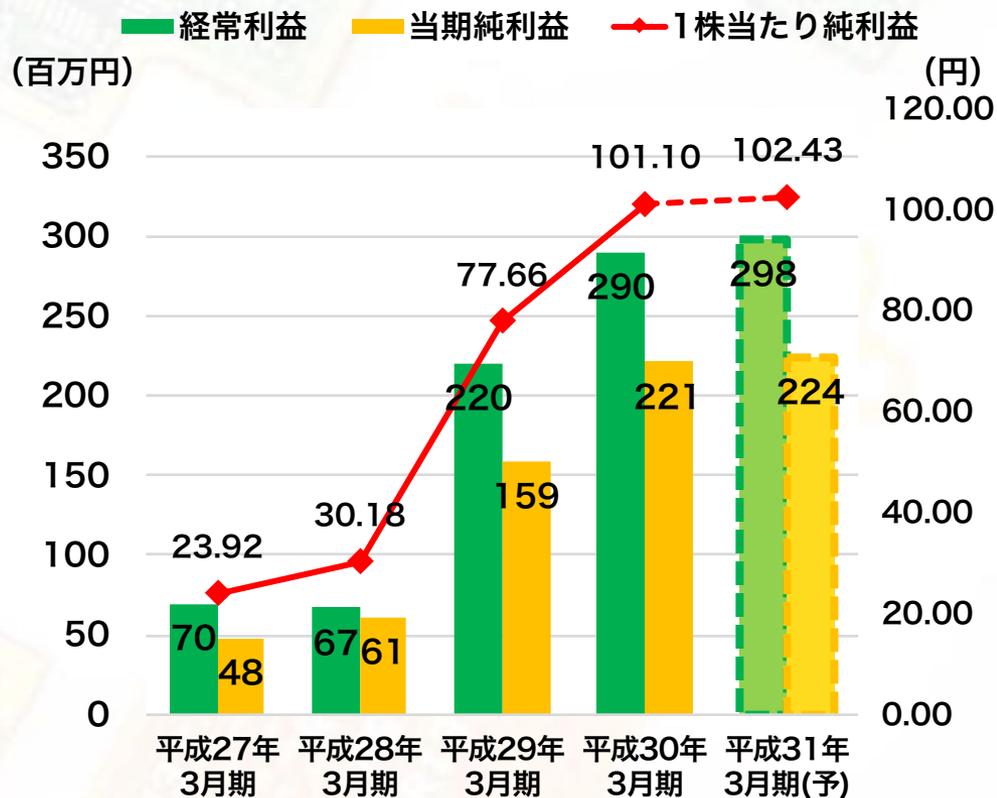
	平成30年 3月期	平成31年3月期		
	実績	予想	前期比	増減率
売上高	1,995	2,102	+106	5.4%
売上総利益	682	725	+43	6.4%
販売管理費	396	430	+34	8.8%
営業利益	286	295	+8	3.1%
営業利益率	14.3%	14.0%		
経常利益	290	298	+7	2.6%
経常利益率	14.6%	14.2%		
当期純利益	221	224	+2	1.3%
当期純利益率	11.1%	10.7%		
1株当たり配当額	10円00銭	未定	—	—

売上高、利益ともに増収・増益を継続する見込みです。

売上高の推移



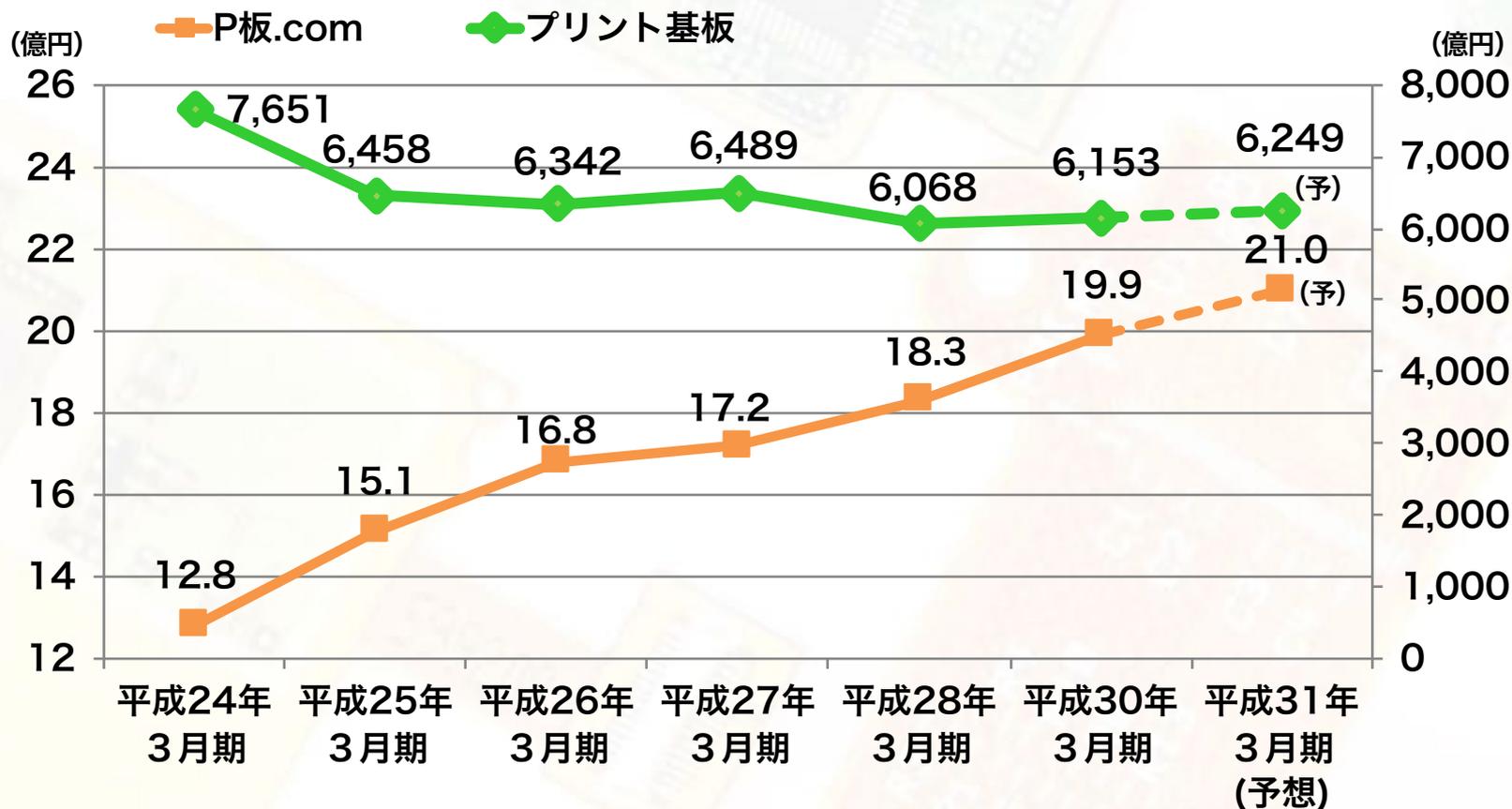
経常利益、純利益の推移



※平成29年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

プリント基板の国内生産額は1.6%増(予想)と前年並み、
P板.comは**持続的な成長を見込みます**。

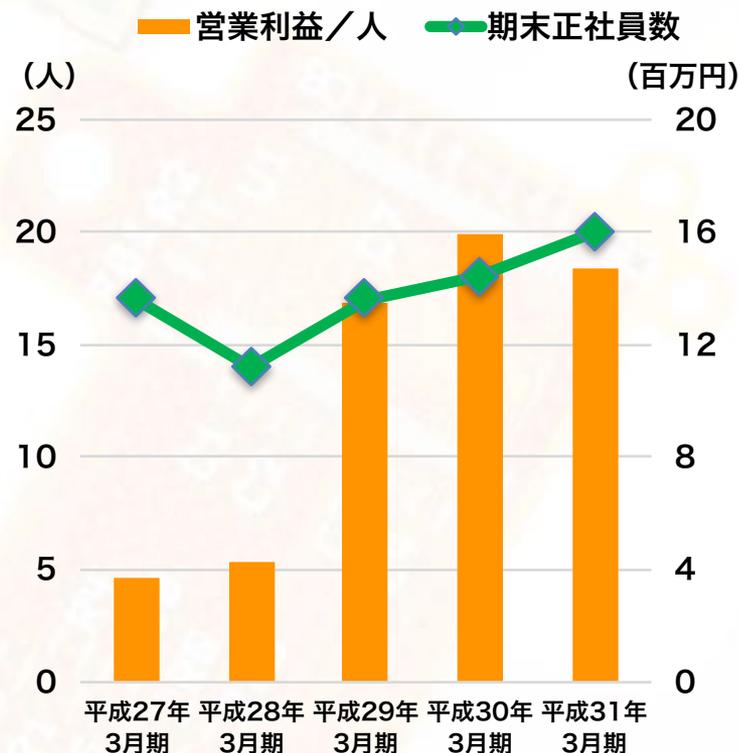
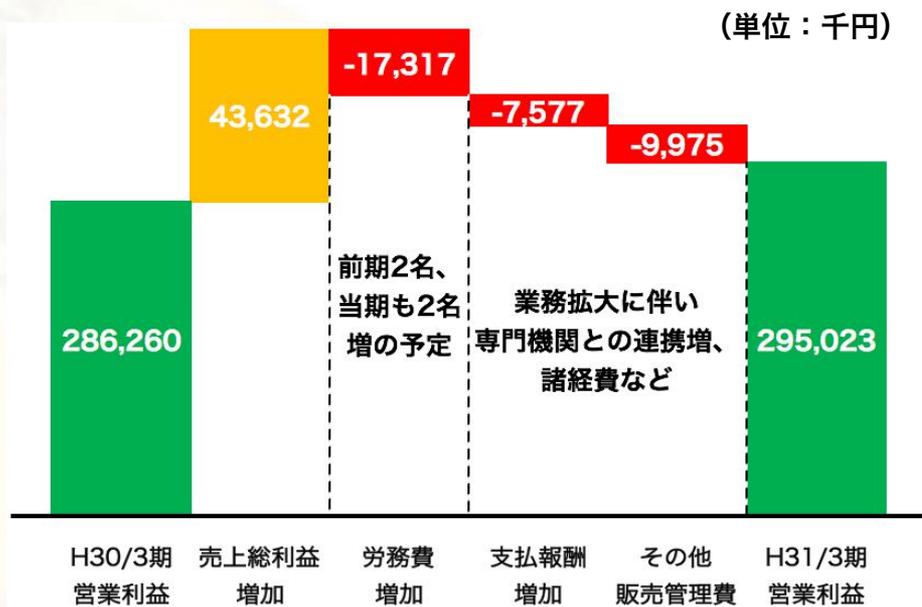
P板.com 売上高推移

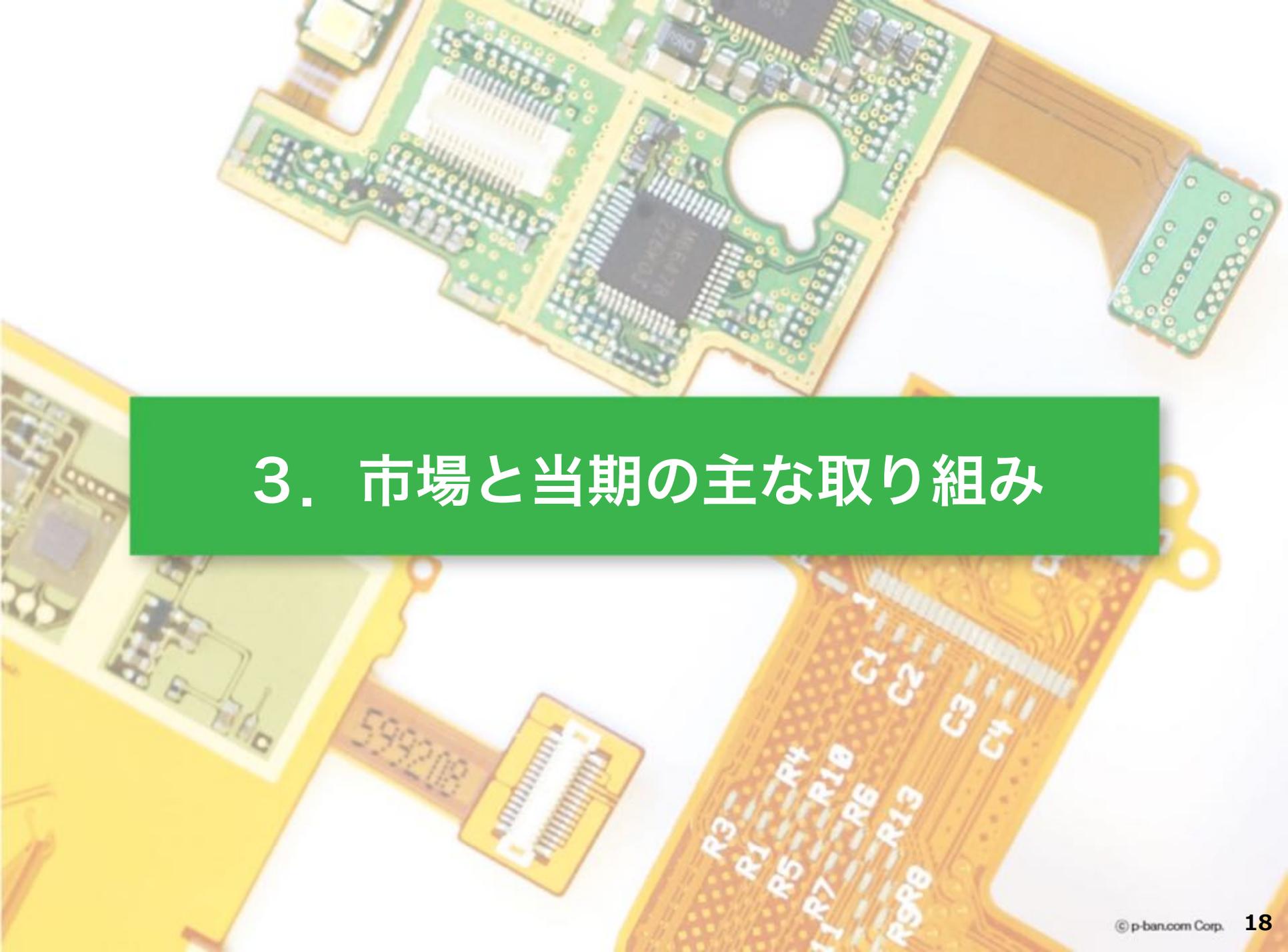


プリント基板国内生産額推移
(出展：日本電子回路工業会)

営業利益の計画について

今後の事業拡大のために（システム増強、品質向上）人員補強します。
 労務費が前期比で17百万円増加が影響し、
 営業利益は3.1%増を見込みます。





3. 市場と当期の主な取り組み

プリント基板とは

自動車、テレビ、スマートフォン、医療機器、発電機など、“電子機器”に必ず使われる主要な部品。一つ一つの製品ごとに使われる基板は、全てオーダーメイド品

国内プリント基板生産額 約6,000億円 ※JPCAによる統計情報より

市場獲得余地は大きい

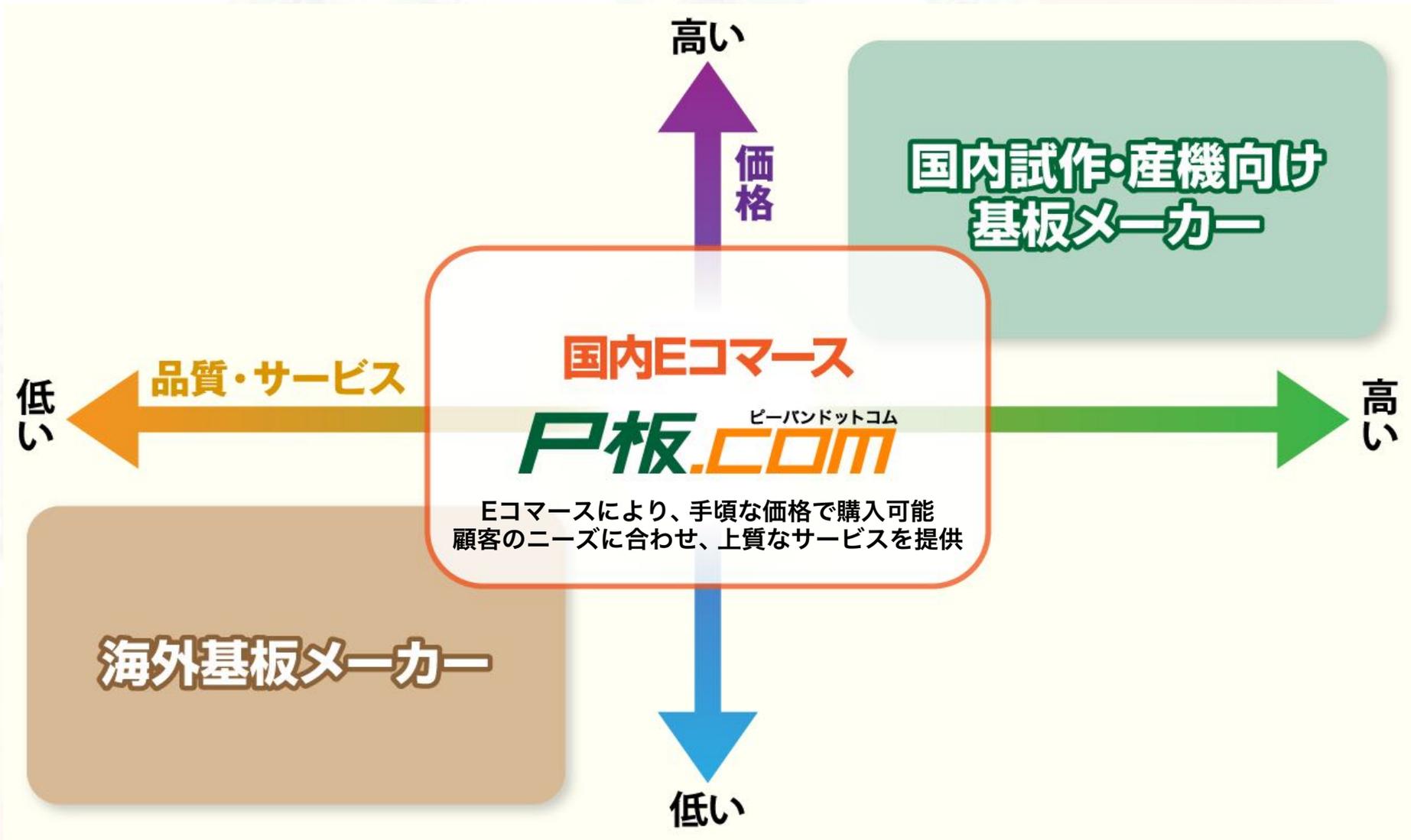
[民生品向け量産市場]
約**4,500**億円

[試作・産機向け市場]
約**1,500**億円

試作市場のシェアをベースに、
量産市場獲得へ

P板.com ビーバンドットコム

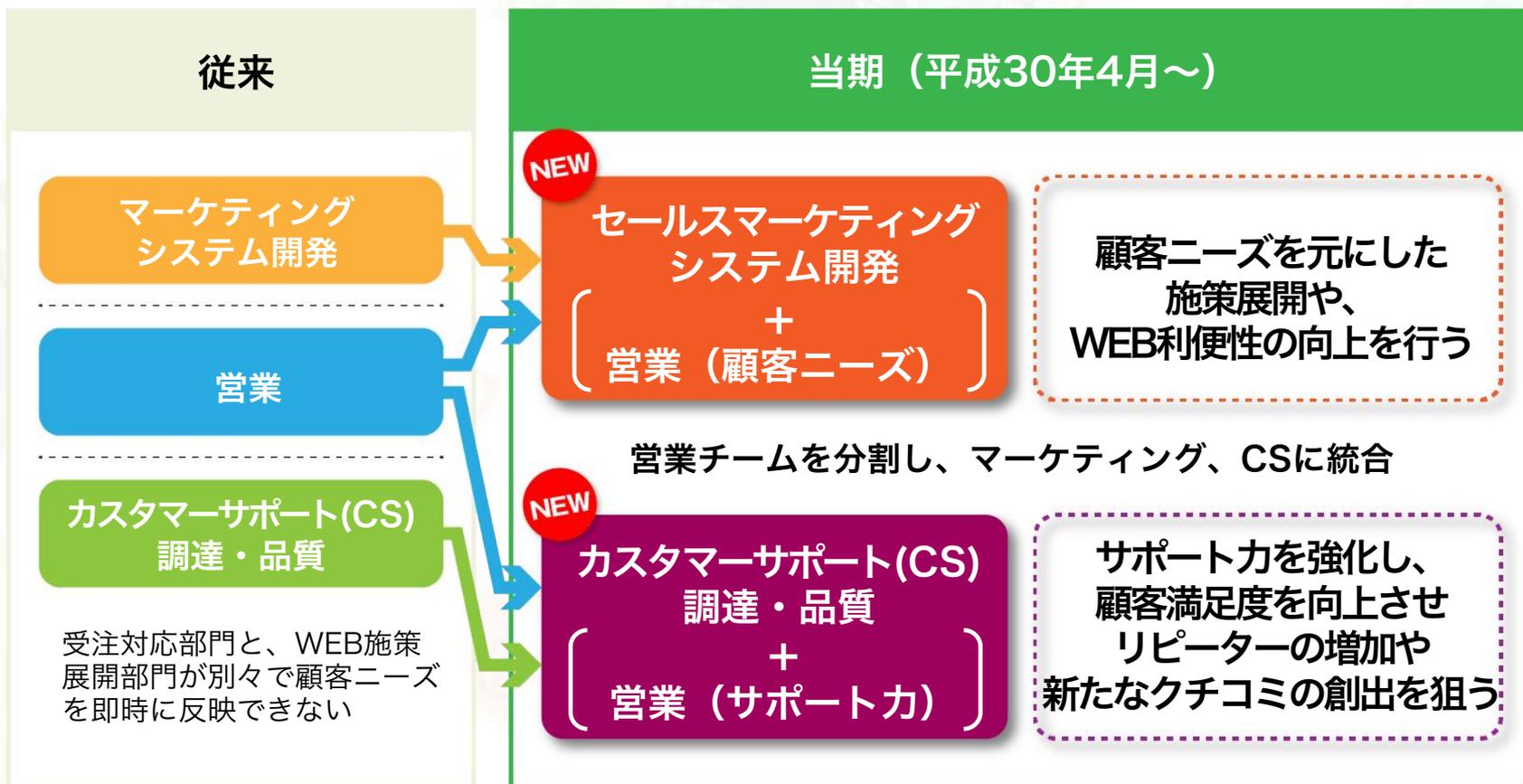
19.9億円
平成30年3月時点



開発環境をイノベーションする

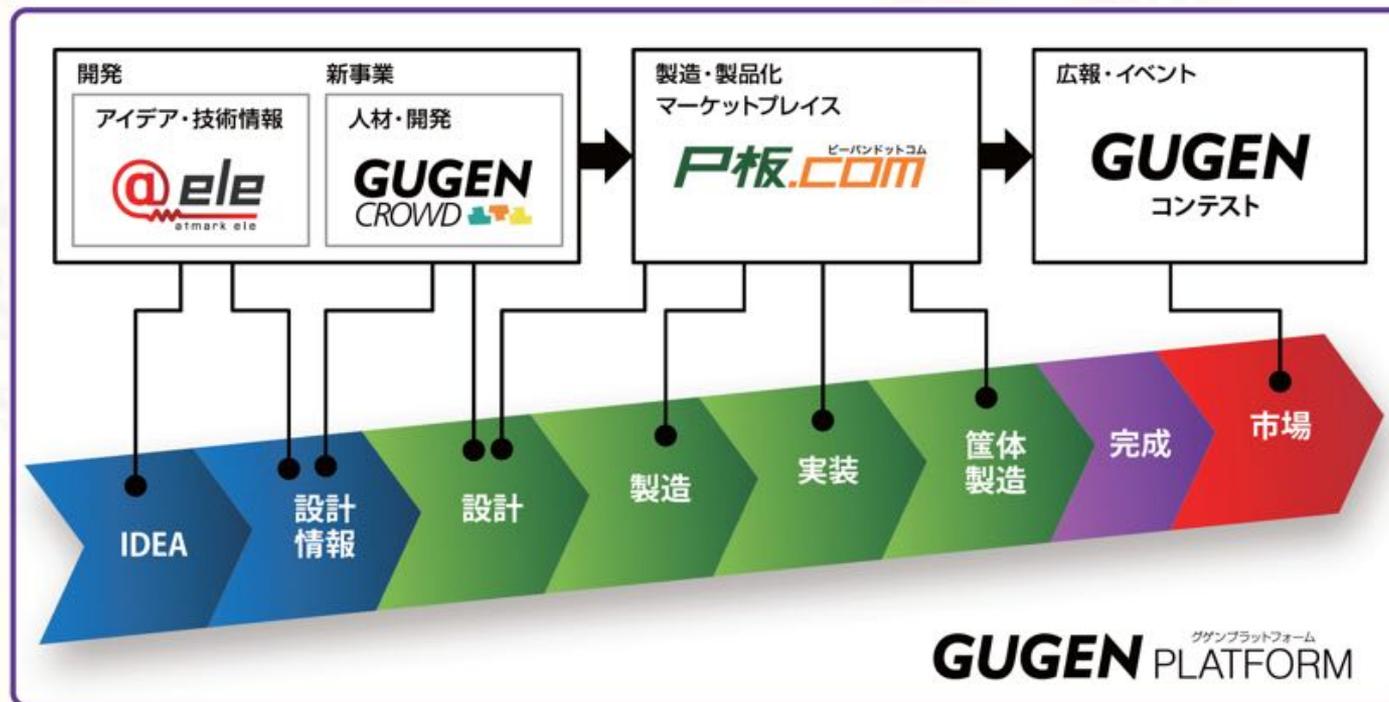
テクノロジーを進歩させることで、
社会問題解決を進める技術と製品を生み出し、
人類の平和と繁栄を創り出す。

顧客ニーズを的確に捉え、ダイレクトにWEB施策やシステム化を推進していくために、4月よりP板.com事業部の体制を強化しています。

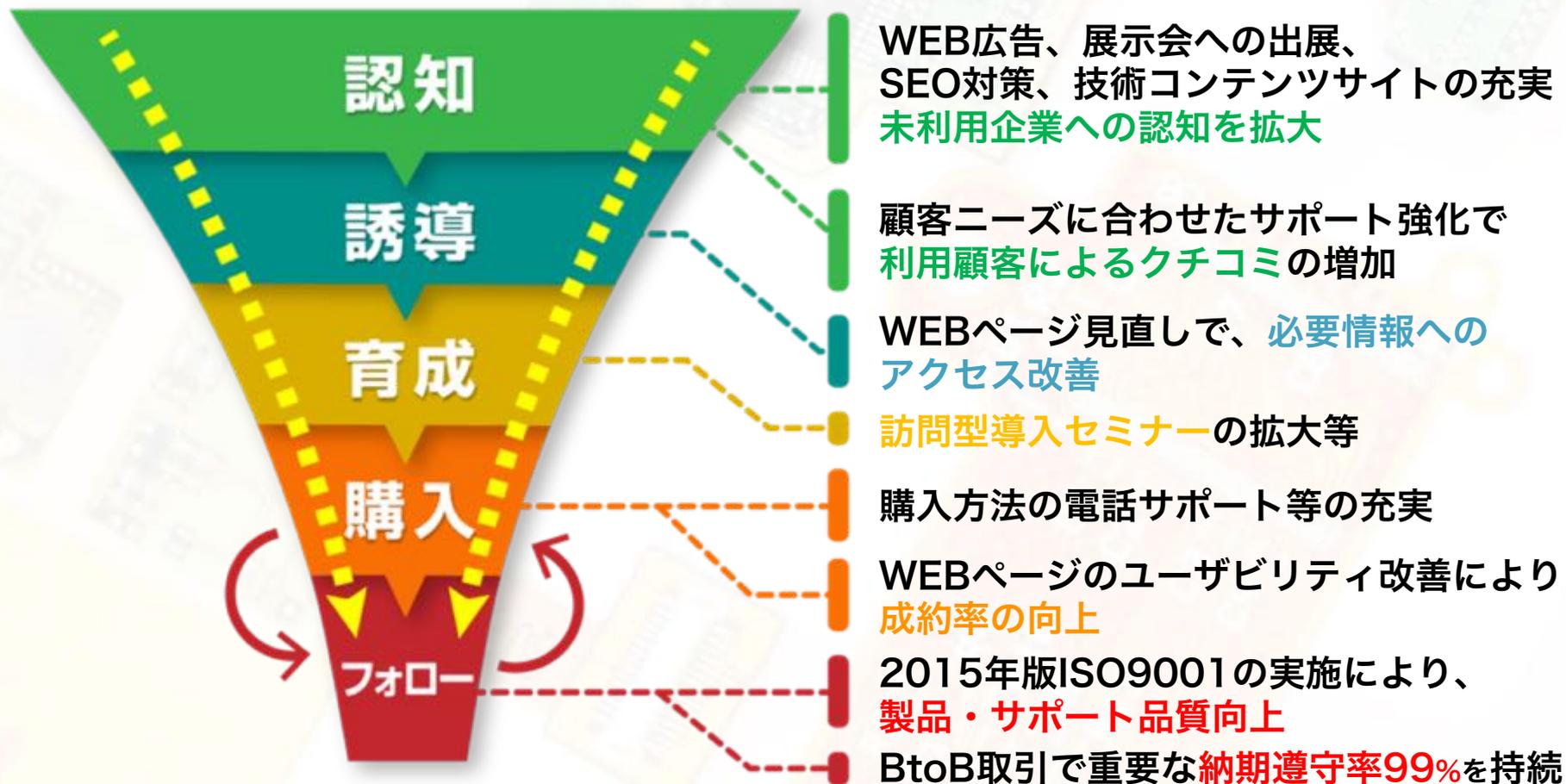


モノづくりの工程を支える**GUGENプラットフォームを強化し、**
当社サービスをより幅広くご利用いただき、収益を最大化します。

- 設計、製造、実装のワンストップ利用顧客の拡大、21.7%→**24.2%**(計画)
- 量産、リピート、ハイスペック基板など高付加価値サービスの拡大
- 周辺サービスの筐体製造、ハーネス加工、メタルマスク製造の充実
- ハードウェアコンテストGUGEN2018を開催し、エンジニアの裾野を拡大



当社サービスを知っていただき、購入に至るまでをフォローするマーケティング施策を強化し、さらに利用拡大を促進します。



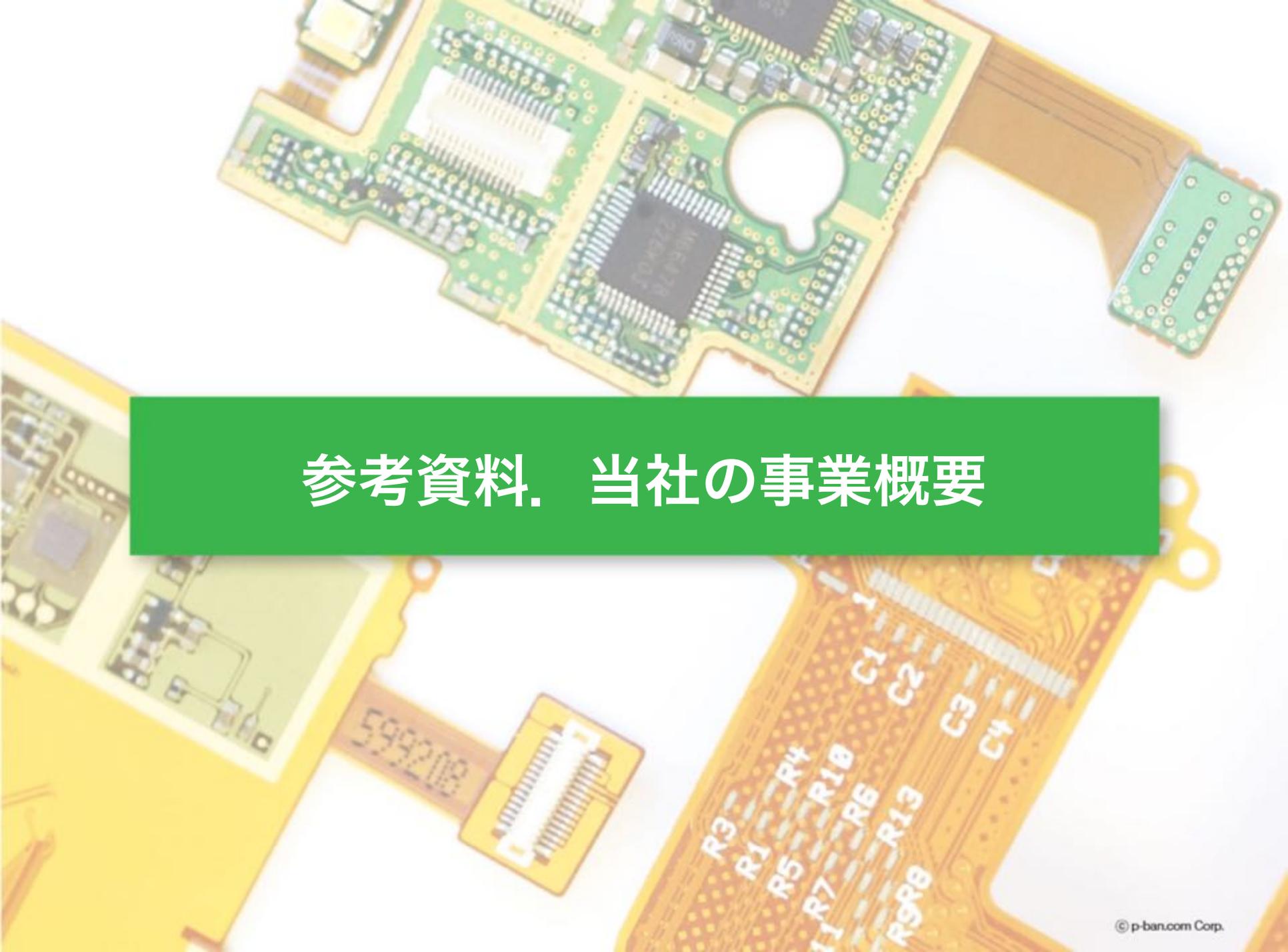
当社は、上場会社に求められる
**コーポレートガバナンス・コードに
沿った運営**を目指します。

1. 監査等委員会設置会社への移行

当社は、監査役会設置会社から、監査等委員が取締役会で議決権を有する「監査等委員会設置会社」に移行することにより、**取締役会の監督機能を強化**し、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図ります。より透明性の高い経営を実現し、**国内外のステークホルダーの期待により応える**体制を構築します。

2. 独立役員について

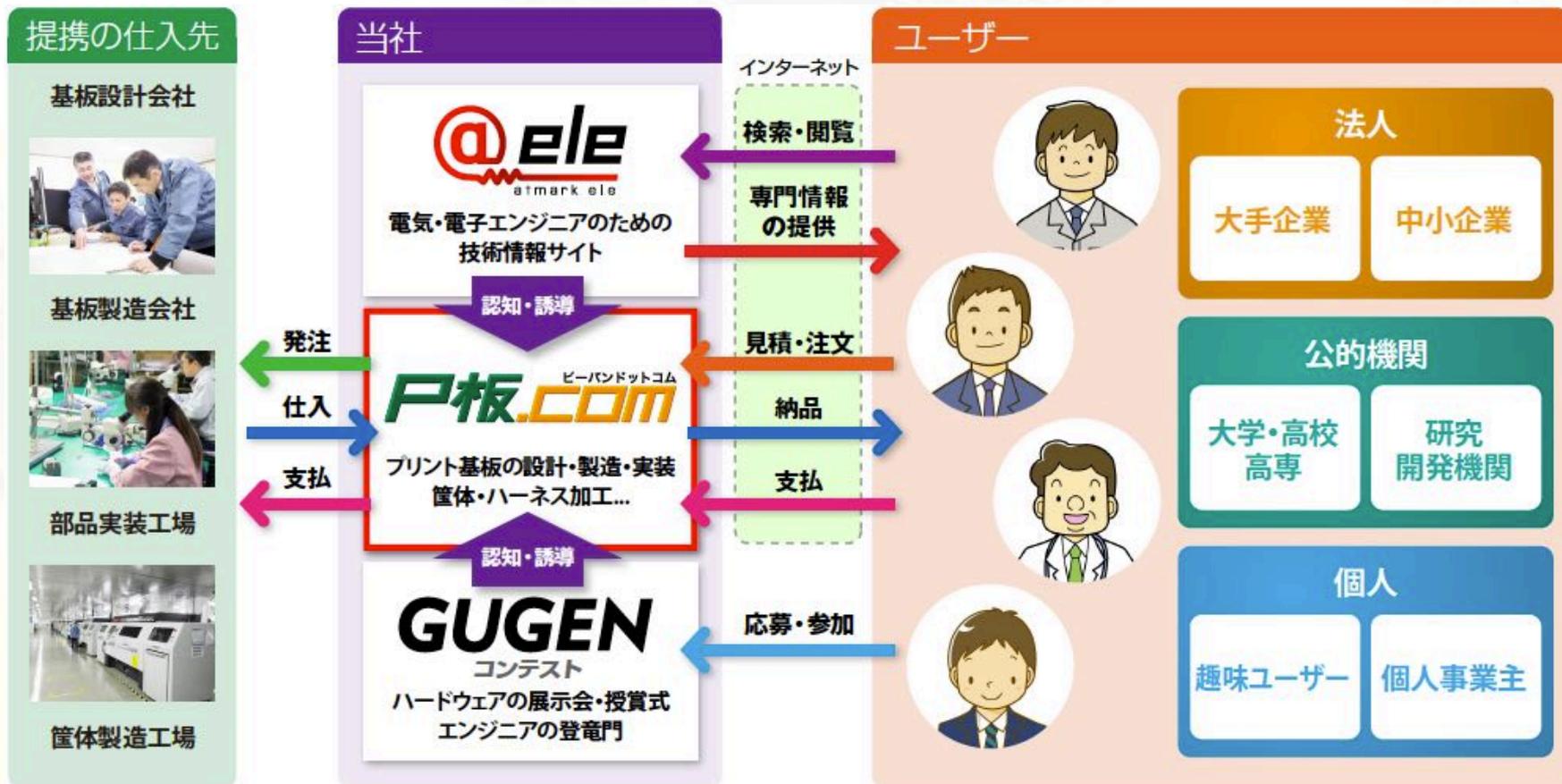
監査等委員となる取締役候補者3名は、一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員として東京証券取引所の届け出ております。



参考資料. 当社の事業概要

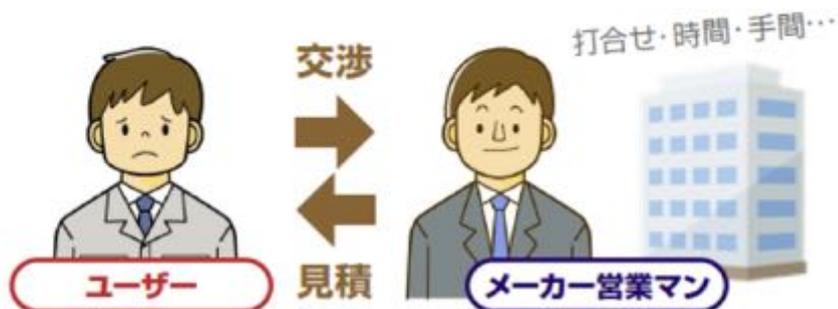
社名	株式会社ピーバンドットコム / p-ban.com Corp.
本社	東京都千代田区五番町14国際中正会館10F
設立	平成14年4月（平成29年3月東証マザーズ上場）
代表者	代表取締役 田坂 正樹
資本金	147,850千円
従業員	26名（正社員19名・臨時雇用7名）平成30年5月現在
事業内容	プリント基板のマーケットプレイス P板.com（ピーバンドットコム）を中心とした、 ”GUGENプラットフォーム”の運営
会計監査人	新日本有限責任監査法人

プリント基板が誰でも手軽に注文できる仕組みを提供



〈従来の購買方法〉

営業マンとの対面で交渉し見積提示、発注に至る



交渉がメーカー主導で、開発者の負担が多い
もっと手軽に基板の作成を行いたい!

定価がなく、メーカーの言い値

高額なイニシャル費用が掛かる

納期は工場ラインの繁忙状況に左右される

纏まった枚数がないと受け入れられない

〈当社サービス〉

ウェブサイト上で自動計算で見積提示、発注出来る



誰にも公平な見積が提示され、余計な交渉が不要!
誰もが手軽に基板を作成出来るサービス

仕様で価格が決まる

イニシャル費用が無料

仕様で納期が決まる

1枚から注文可能



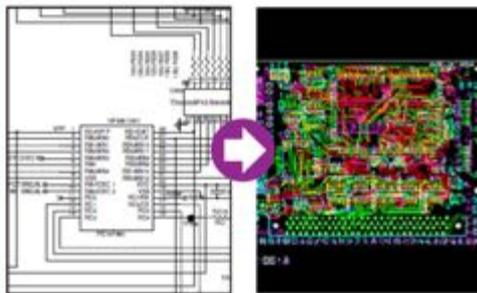
(プリント基板のEコマース)

大企業から中小企業、個人、学校法人まで4万8千ユーザーが登録、
設計・製造・実装の見積、注文をインターネットで完結出来るのはP板.comだけ！

プリント基板の 設計サービス

(無料CAD提供サービス含む)

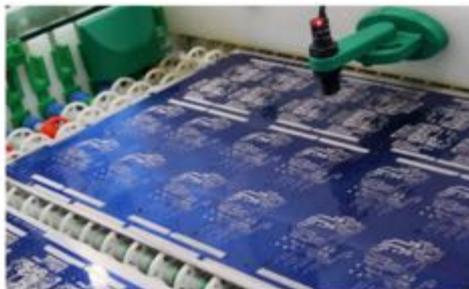
電子回路図 (トランジスタ、半導体等の部品を繋げた図) を元に、部品の位置を決定し、プリント基板の製造に必要なレイアウトデータを設計する。



回路図データから、基板製造用データを作成。

プリント基板の 製造サービス

製造用のデータを元に、銅はくが張られた基板から不要な銅を科学反応で除去し、データ通りのレイアウトとなるように基板を製造する。

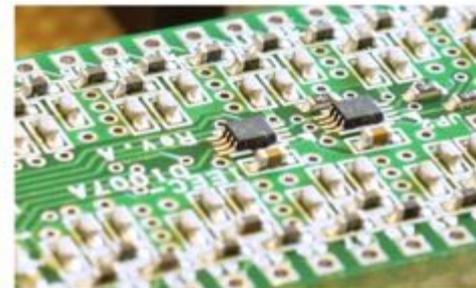


基板製造用データを元にプリント基板を製造。

プリント基板への 部品実装サービス

(部品調達サービス・無料部品提供サービス含む)

製造した基板の上に、電子部品をはんだで取り付ける。部品の数や形状により、技術者による手実装と機械 (マウンター機) 実装を使い分ける。



プリント基板に電子部品をはんだ付け。



回路・基板設計に特化した技術情報サイトを運営
エンジニアを集客し、P板.comの利用に繋げています

業界の**権威に記事執筆を依頼し、信頼性の高いコンテンツを作成**

@eleの主な著者

前田真一氏

沼倉研史氏



毎月4~10
コンテンツを
更新中

主要コンテンツ

基板の常識
(リジット/フレキ)、
CADマスターへの道、
レジスト、層構成、
シルク、部品実装、
基板製造、基板設計、
配線、他

プリント基板に特化した内容で、基本から応用まで幅広くカバー

オリジナルハードウェアコンテスト

GUGEN

2009年から毎年、ハードウェア作品コンテストを開催
エンジニアの裾野拡大を図っています

「実用性・商品性」の高い
国内最大級の
ハードウェアコンテスト
Makersの登竜門

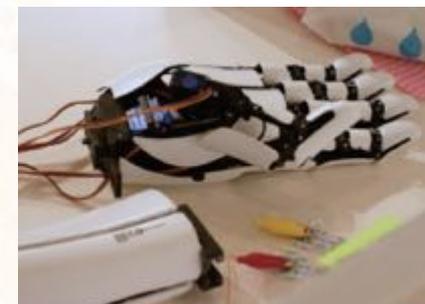
若手エンジニアや学生にスポットを当て、
業界の活性化を目指す



GUGEN2016の大賞作品”bioSync”。
動きを共有することでパーキンソン病
等の解決を目指すデバイス



最多応募数 **205** 作品
最多動員数 **500** 名超



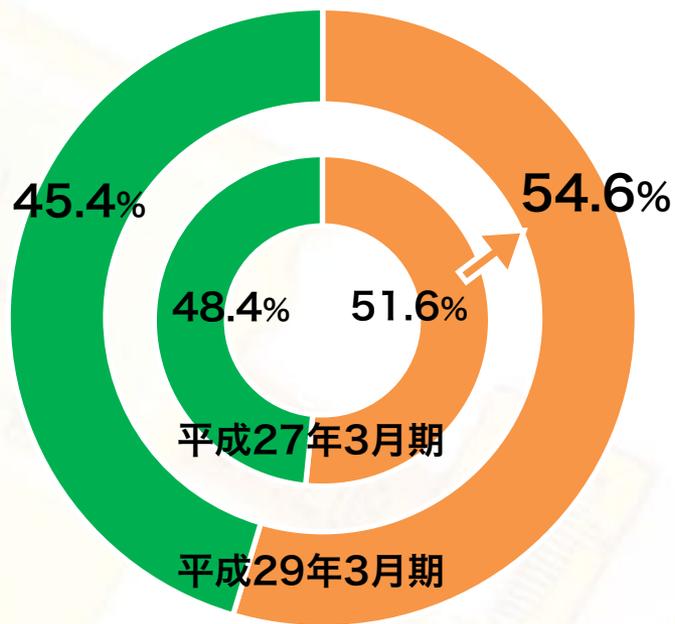
GUGENから生まれた筋電義手。
現在ではオープンソース化され、
義手の拡大に貢献

GUGENの活動は
多くの企業から評価され、
スポンサーは年々増加
コクヨ、マイクロソフト、インテル、
DMM.make、さくらインターネット、他



新規購入客の半数が「知人からの紹介」
当社サービスの品質・納期などに高い満足を感じた
大手・中堅企業利用顧客の「クチコミ」が、
新たな顧客の創出に繋がっています

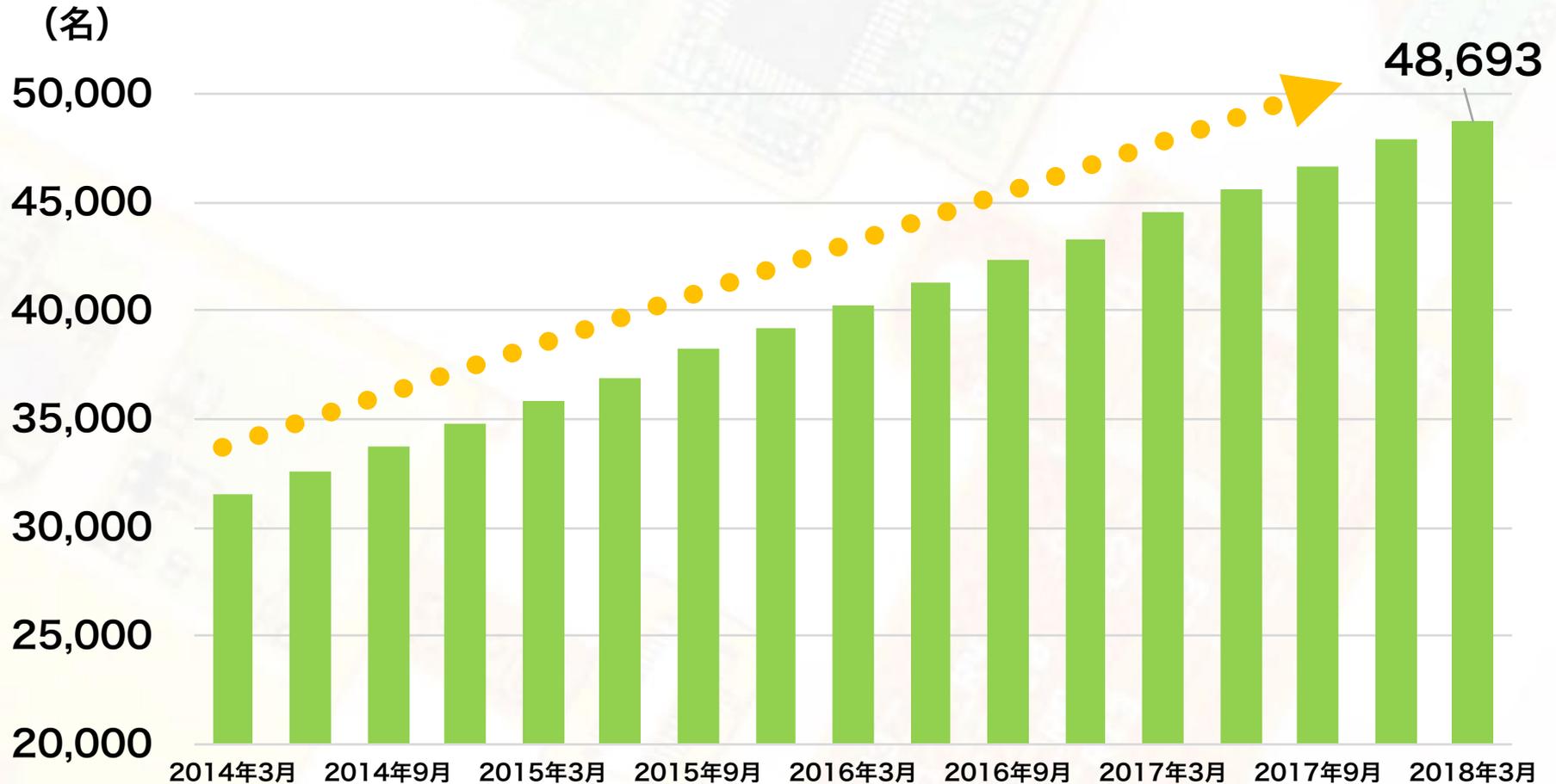
■ 検索エンジン、広告媒体等 ■ 知人からの紹介



ユーザー登録時に、
当社サービスを知っていただいた
経緯をアンケート調査

2年間で
51.6% → 54.6% に増加

登録ユーザー数は、累計4万8千名を突破、
今後も継続成長していきます



当社は、平成29年3月期第3四半期より四半期財務諸表を作成しており、平成29年3月期第2四半期以前は監査法人による監査を受けておりません。

よって、本資料における平成29年3月期第2四半期以前の数値は参考値として掲載させていただきます。

実際の業績等は今後の様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。

本資料は、投資勧誘目的で作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料を全面的に依拠した投資判断を下すことはお控えください。